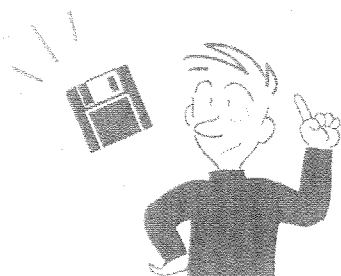
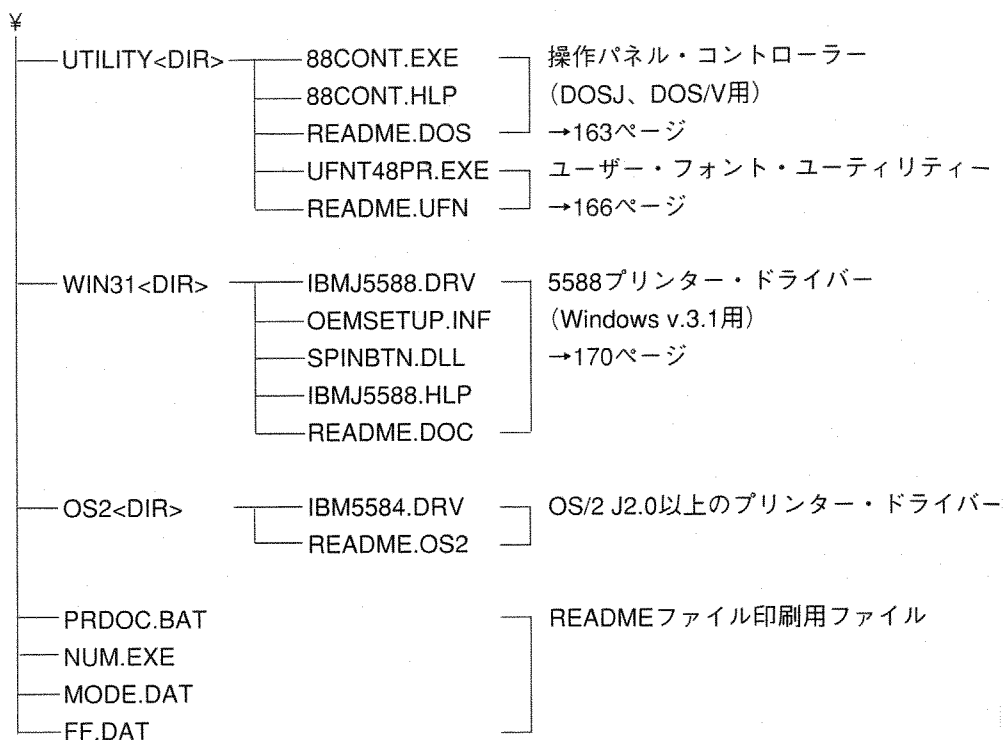


# ユーティリティー・ディスクについて



ユーティリティー・ディスクには、次のファイルが入っています。

各ユーティリティーの機能と導入方法については、それぞれの参照ページとREADMEファイルをご覧ください。



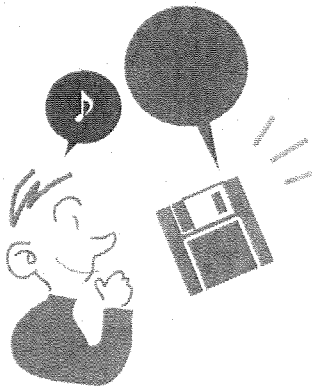
## ●READMEファイルの印刷方法



### 操作の手順

- 1 システム・ユニットにプリンターを接続し、印刷可能状態にします。
- 2 ユーティリティー・ディスクを挿入してあるディスク・ドライブを、カレント・ドライブにします。
- 3 コマンドプロンプトから「PRDOC」と入力します。  
以下は画面の指示に従って操作してください。

# 操作パネル・コントローラーの導入と起動



プリンター付属のユーティリティー・ディスクレットには、操作パネルのスイッチで行うモード設定操作を、システム・ユニットの画面から対話形式で行うことができるようにする「操作パネル・コントローラー」が入っています。操作パネル・コントローラーは、システム・ユニットのハード・ディスクにコピーして使用することもできますし、ディスクレットからそのまま使用することもできます。操作パネル・コントローラーのハード・ディスクへのコピー方法、および使用方法は、お使いになっているオペレーティング・システムの種類によって若干違います。オペレーティング・システムの種類に合わせてお読みください。

## ●NetWare 386 v3.1XJを使用している場合

NetWareのクライアント機上で操作パネル・コントローラーを起動して、リモート接続されたプリンターのモード設定を行うことはできません。本プリンターを接続したシステム・ユニット上でいったんNetWareをログオフしたあと、操作パネル・コントローラーを起動してください。

## ●IBM DOS J4.0, IBM DOS J4.0/VまたはPC DOS J6.0/V以上を使用している場合

### ●ハード・ディスクへのコピー方法

#### 操作の手順

- 1 ユーティリティー・ディスクレットをシステム・ユニットの空いているディスク・ドライブに挿入します。



## 2 キーボードから次のように入力します。

COPY [d1]:UTILITY¥88CONT.\* [d2]:  
 ([d1]は複写元のディスク・ドライブ名、[d2]は複写先のハード・ディスク・ドライブ名)

ハード・ディスクへのコピーが開始され、すぐに終了します。

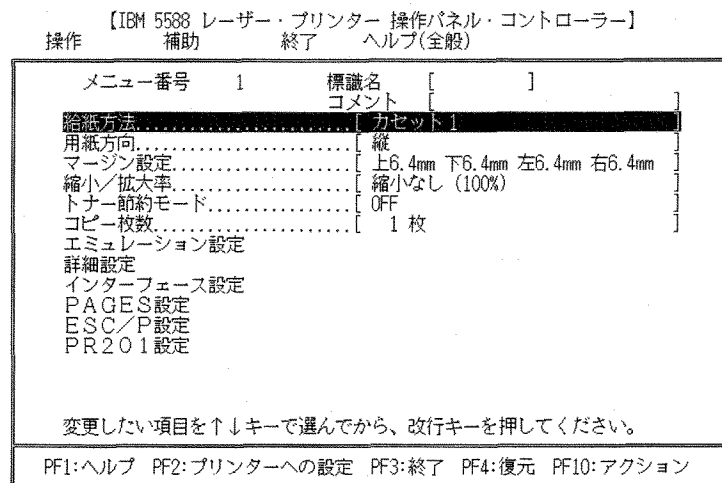
### ●操作パネル・コントローラーの起動方法

## 操作の手順

### ●ハード・ディスクから起動するとき

- 1 カレント・ドライブを、コントローラーがコピーされたドライブに変更します。
- 2 キーボードから「88CONT」と入力します。  
 タイトル画面が表示されます。

### 3 タイトル画面で改行キーを押すと、次のようなメイン・メニュー画面が表示されます。



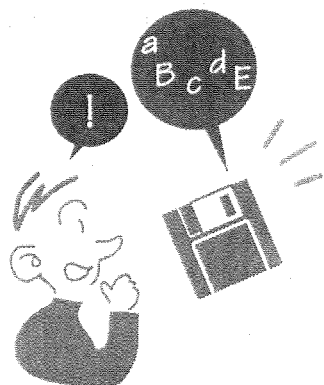
以下、画面の指示に従って操作していきます。また、必要に応じてヘルプ画面を見ることができます。

より詳細な操作方法については、ユーティリティー・ディスクセットの中のREADME.DOSファイルを参照してください。

#### ●ディスクセットからそのまま起動するとき

- 1 操作パネル・コントローラー・ディスクセットがAドライブにあり、カレント・ドライブがCドライブになっているときは、キーボードから「A:」と入力してカレント・ドライブをAに変えます。
- 2 キーボードから「CD UTILITY」と入力します。
- 3 キーボードから「88CONT」と入力します。  
ファイルが読み込まれ、タイトル画面が表示されます。

# ユーザー・フォント・ユーティリティの導入と起動



プリンター付属のユーティリティ・ディスクには、ユーザー・フォント・パターンを定義、登録する「ユーザー・フォント・ユーティリティ」"UFNT48PR.EXE"が入っています。"UFNT48PR"には、次のユーザー・フォント（ディスプレイ用、レーザー・プリンター用）を定義、編集する機能があります。また、レーザー・プリンター用のユーザー・フォントをレーザー・プリンターに登録する機能もあります。

- ディスプレイ用ユーザーフォント  
16ドット×16ドット (DOS/V)  
24ドット×24ドット (DOS/J)
- レーザー・プリンター用  
32ドット×32ドット  
48ドット×48ドット

"UFNT48PR"は、次のオペレーティング・システムで実行できます。

IBM DOS J4.0以上

IBM DOS J4.0/V以上

PC DOS J6.0/V以上

"UFNT48PR"は、PS/55、またはPS/Vのハード・ディスクに導入して使用します。



ただし、IBM PC DOS J6.0/V以降では、"USRFNT.EXE"のファイル名で同様の機能を持ったファイルが、標準で提供されています。

その場合、プリンター同梱のファイルを導入する必要はありません。

## ●ハード・ディスクへのコピー方法

### 操作の手順

- 1 ユーティリティ・ディスクをシステム・ユニットの空いているディスク・ドライブに挿入します。

コマンド・プロンプト上で、キーボードから次のように入力します。

- 2 COPY [d1]:¥UTILITY¥UFNT48PR.EXE [d2]:  
([d1]は複写元のディスク・ドライブ名、[d2]は複写先のハード・ディスク・ドライブ名)

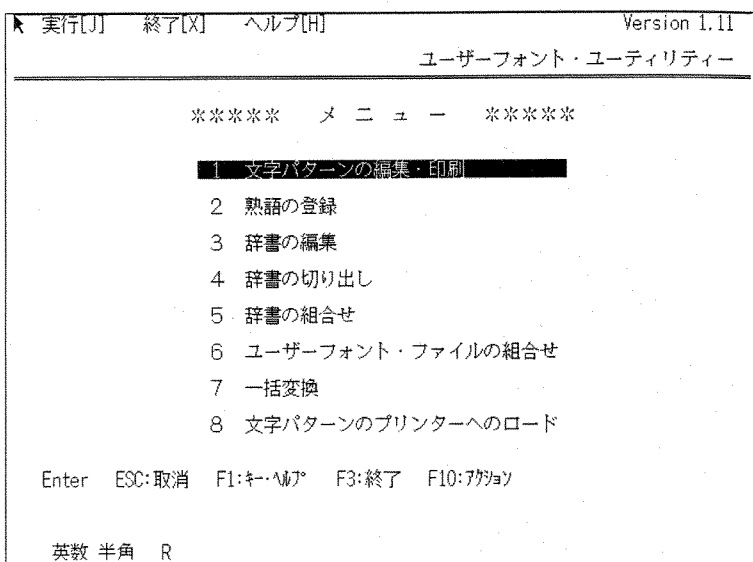
ハード・ディスクへのコピーが開始され、すぐに終了します。  
詳しくはREADME.UFN (説明書ファイル) をご覧ください。

## ●ユーザー・フォント・ユーティリティの起動方法



### 操作の手順

キーボードから「UFNT48PR」と入力します。  
次のトップメニュー画面が表示されます。



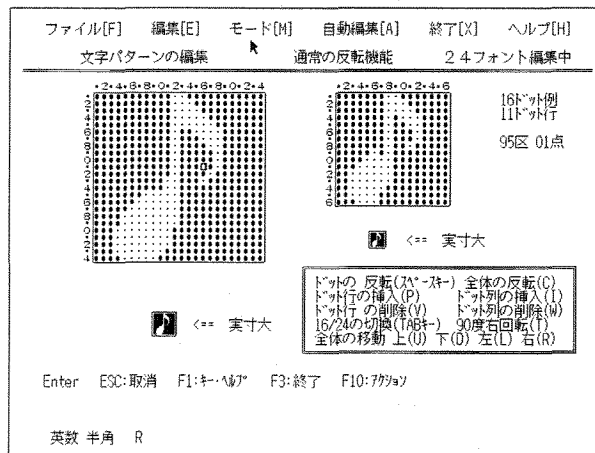
より詳細な操作方法については、ユーティリティ・ディスク  
ットの中のREADME.UFNファイルを参照してください。

## ●ユーザー・フォント・ユーティティの操作方法

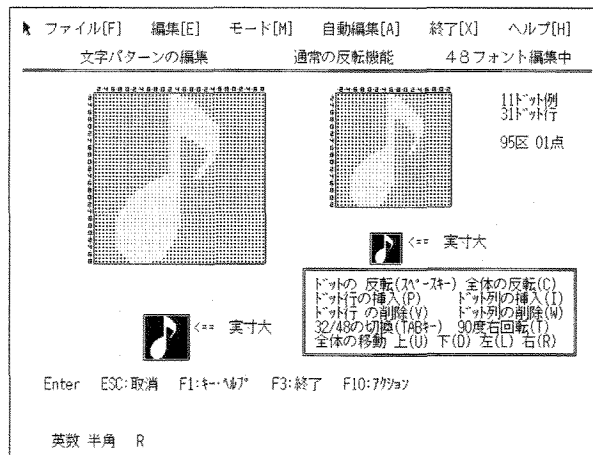
### 🖱️ 操作の手順

ユーザー・フォントの編集、印刷をするときは、「1」と入力し、目的の文字ドットを選択します。  
 選択したドットに従って、次のような画面が表示されます。

<16ドット×24ドット>



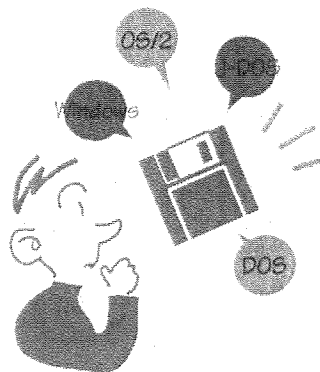
<32/48ドット>



以下、画面の指示に従って、マウス、またはキーボードで操作していきます。また、必要に応じてヘルプ画面を見ることができます。



# プリンター・ドライバーの選択と導入



## ●Microsoft® Windows™ Version 3.1

ユーティリティー・ディスクの中の5588用プリンター・ドライバー (IBMJ5588.DRV) を使用してください。Windows 3.1をご使用の方はサブディレクトリー¥WIN31内のファイルを使用してください。5588本来の解像度360DPIで印字可能となります。導入方法は通常のプリンター・ドライバーと同じですが、詳しくはユーティリティー・ディスクの中のREADME.DOCを参照してください。

## ●OS/2 J2.0以上

ユーティリティー・ディスクのサブディレクトリー¥OS2内のOS2用プリンター・ドライバー (ファイル名IBM 5584.DRV) をインストールしてください。インストールの方法について詳しくは、ユーティリティーディスクの中のREADME.OS2ファイルを参照してください。

## ●OS/2 J1.3

206ページの印刷装置選択の優先順位に従ってプリンター・ドライバーを選択してください。導入の方法についての詳しいことは、OS/2のご使用の手引きを参照してください。



プリンター・ドライバー5585、5587、5589を選択した場合は、240DPIのイメージ・データを360DPIに変換して印字します。

## ● J-DOS J4.0/J5.0

DOSを導入後、下記の手順で設定を変更してください。  
以下、DOSがCドライブのディレクトリーDOSの下に導入されている場合の例で説明します。

### 操作の手順

- 1 CONFIG.SYSファイルの中の以下の行を、EDLINなどのエディターを使って書き換えます。

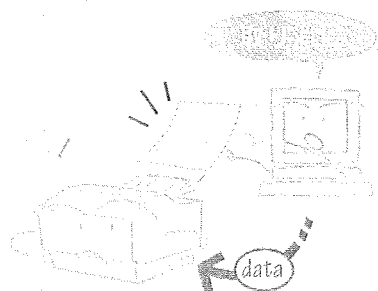
変更前：DEVICE=C:¥DOS¥\$PRN24E.SYS

↓

変更後：DEVICE=C:¥DOS¥\$PRN32.SYS /NC /NECC

- 2 DOSを立ち上げ直します。  
さらに、ユーザー定義文字を48ドットで印字するためには、「ユーザー・フォント・ユーティリティーの導入と起動」(→166ページ)を参照してください。

# 印刷取消要求



プリンターに既にデータが送られているとき、印刷不可状態で、**[ESC]** スイッチを押すと、システム・ユニットに「印刷取消要求」の信号を送ります。この信号を受け取ったシステム・ユニットは、プリンターに対して「印刷取消命令」を出し、印刷を終了させます。「印刷取消命令」を受け取ると、プリンターはすべてのデータを消去します。



使用しているソフトウェアによっては、「印刷取消要求」信号を受け取ったときのシステム・ユニットの動作が上記と異なります。

- 「印刷取消要求」の信号を受け取ると、プリンターへ「初期設定」の信号を送るもの（例：DOS文書プログラム）

この場合プリンターは、残っていたデータを消去し、印刷可能状態になります。このとき一時設定されていた値はすべて初期設定値に戻ります。データの消去と設定値のリセットは、何の警告もなく実行されるので、印刷取り消し機能は、使っているソフトウェアの動作をよく確認してから使ってください。

- 「印刷取消要求」信号を受け取っても「印刷取消命令」を出さないもの

この場合は、印刷は取り消されず、中断状態が続きます。